



藤岡 緑 議員

Q グループホームなどの防災環境は

A 国の基準より強化した規定を設けている

現在町内には、3か所の認知症高齢者グループホームがある。こうした地域密着型施設の指定基準は国が定めていたが、今回の法改正で市町村の条例で定めることができるようになった。

その結果、災害の種別に応じた個別計画策定や避難訓練の実施など国の基準より強化した規定を設けている。

① 開催まで4年、プレまでには3年と時間的余裕がさほどない。町民グラウンドにホッケー場を開設する際の周辺施設整備や計画の本身は。

② この機会を町の知名度を上げる地域活性化の目玉として、盛り上げていってほしいのだが、町の考えは。

答

保健福祉部長

問 いざ大きな災害が起こったときに迅速に避難できにくい高齢者が、団体で生活するグループホームなどでは、防災環境整備が生命にかかわる重要な課題だ。

自然災害はもちろんだが、先日他県で起こった火災事故などから、再度町内の同様施設の防火体制と対策、また避難誘導について問う。

今回の事故を受け、防火安全対策の再点検の通知と指導を行った。

各施設ともスプリンクラーを設置しているとの報告はあるが、夜間の被害の拡大などに対して自主防災組織や消防団、地域との連携が不可欠だ。今後は、災害時要援護者各人の避難支援プランを作成していく予定だ。

問 えひめ国体に向けた本格的取り組みは

答 地域住民参加型の実行委員会を立ち上げ、準備する

町長

① 鶴吉の町民グラウンドに新たなホッケー場を整備することは内定した。ただ、幅が不足するため土地を購入し、人工芝で整備する予定。

既設の体育館は、中を仕切って役員室など必要なブースとする。トイレ、シャワールの老朽化している部分は状況を見て改修していく。

ただし、観客席、ロッカールーム、選手控室

などは基本的に仮設で考えている。

宿泊は民泊の検討もしたい。いずれも住民の協力が必要で、今後は実行委員会に委ねたい。

② 国体で愛媛県を訪れる選手や役員、応援の人たちを「おもてなしの気持ち」で迎え松前町の良さを知ってもらうことも大きな目的だ。町の特産品、試食、販売PRなど地域の活性化に繋がることは積極的にやりたい。

問 小・中学校教育における体罰問題は

クラブ活動や授業などで体罰が行われ自殺に追い込まれるなど深刻な問題が全国で起きている。

これを受けて全国的な実態調査が行われているが町内の学校ではどうか。また、特別支援学級などで問題はないのか。

答 体罰の報告はない

教育長

県教育委員会が行った昨年4月から今年1月にかけての体罰実態調査で21件の報告があったが、町内ではない。

授業、部活動においても勝利至上主義に偏ったり体罰を正当化することは許されない。調査結果で体罰を行った教員が判明すれば厳正に処分する。

特別支援学級でも教員の指導、校内巡回などを通し、特に問題はない。



これから、どんなホッケー場に？

